

マスク600枚届ける

コープさっぽろ、室蘭・わかすぎ学園に



生活協同組合コープさっぽろは8日、室蘭言泉学園（母恋南町、が運営する児童養護施設のわかすぎ学園）に伊藤施設長（右）にマスクを手渡すコープさっぽろ室蘭地区のスタッフ

伊藤施設長（右）にガーゼ製、立体型など再利用可能なマスクを中心に計600枚を寄贈した。

コープさっぽろでは新型コロナウイルス感染拡大に伴い、6月から「未使用・未开封マスク」の回収を開始。9482組（1万8964枚）が集まり全道24の児童養護施設などに配られた。胆振管内ではわかすぎ学園が対象となった。

伊藤施設長は「ガーゼマスクは洗って繰り返し使うが、長く使うと生地が黄ばんだり縮んだり、ゴムが伸びたりする。本当にありがたい。頂いたマスクはここだけでなく、言泉学園の各施設で使わせていただきます」とお礼を述べた。

コープさっぽろ室蘭地区エリア組織委員会の久保由美子委員長は「今回の寄贈を機に、食育や読み聞かせなどさまざまな形でつながっていったら」と展望した。

（北川誠）